

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 4 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

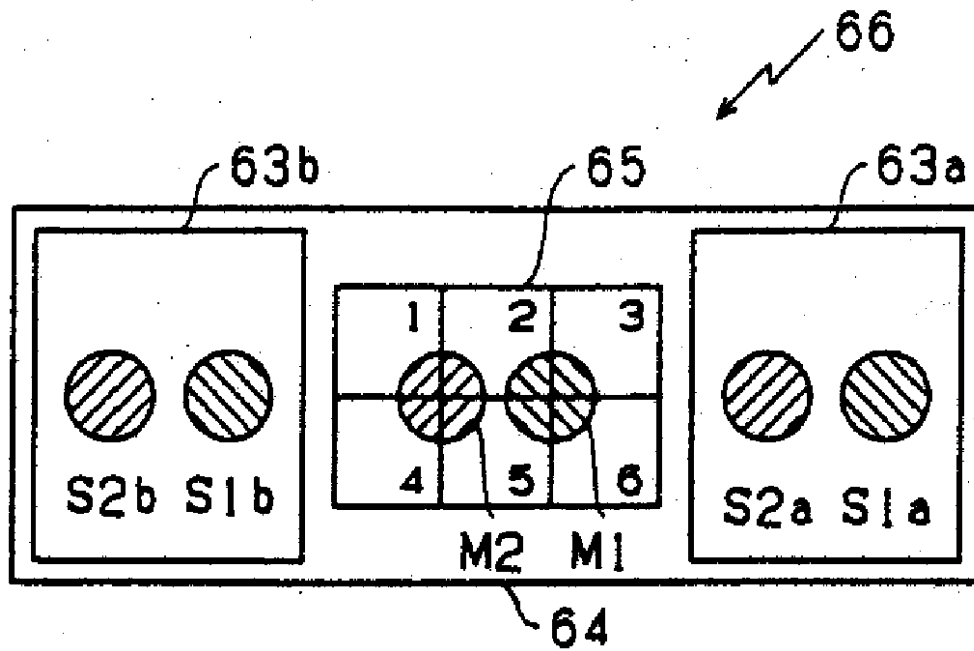
【公開番号】特開 2001-184703 (P2001-184703A)
【公開日】平成 13 年 7 月 6 日 (2001.7.6)
【出願番号】特願 平 11-365584
【国際特許分類第 7 版】
G 1 1 B 7/135
G 1 1 B 7/13
【F I】
G 1 1 B 7/135 Z
G 1 1 B 7/13

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 9 月 7 日 (2005.9.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 5 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 5 4】

光検出装置 7 0 は、3 列 3 行に配置された分割領域 1 ~ 9 からなる 9 つの受光領域を有する 9 分割ディテクタである 9 分割検出部 7 1 と、トラッキングエラー T E 信号生成に用いられる 9 分割検出部 7 1 の外形よりも大きい第 1 及び第 2 レーザビームの副ビーム S 1 a、S 2 a、S 1 b、S 2 b を受光する 2 つの副検出部 6 3 a、6 3 b を基板 6 4 上に構成したものであり、9 分割検出部 7 1 と 2 つの副検出部 6 3 a、6 3 b の受光面が同一平面となるようにその高さは同一に形成している。さらに、第 2 実施形態と同様に、光検出装置 7 0 は、色収差の悪影響を減少させるため、図 1 5 に示すように、基板 6 4 が傾斜した状態で設置されており第 1 レーザビームの主ビーム M 1 を受光する受光面と、第 2 レーザビームの主ビーム M 2 が照射される受光面の高さが主光線方向に ΔL だけ異なるように構成している。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 1 1
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 1 1】



【手続補正 3】

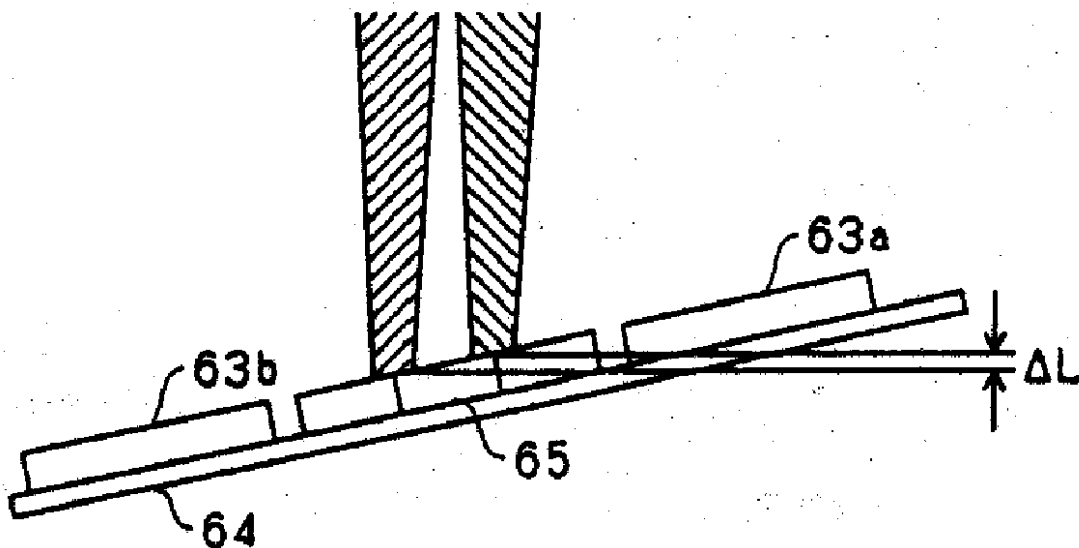
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 2】



【手続補正 4】

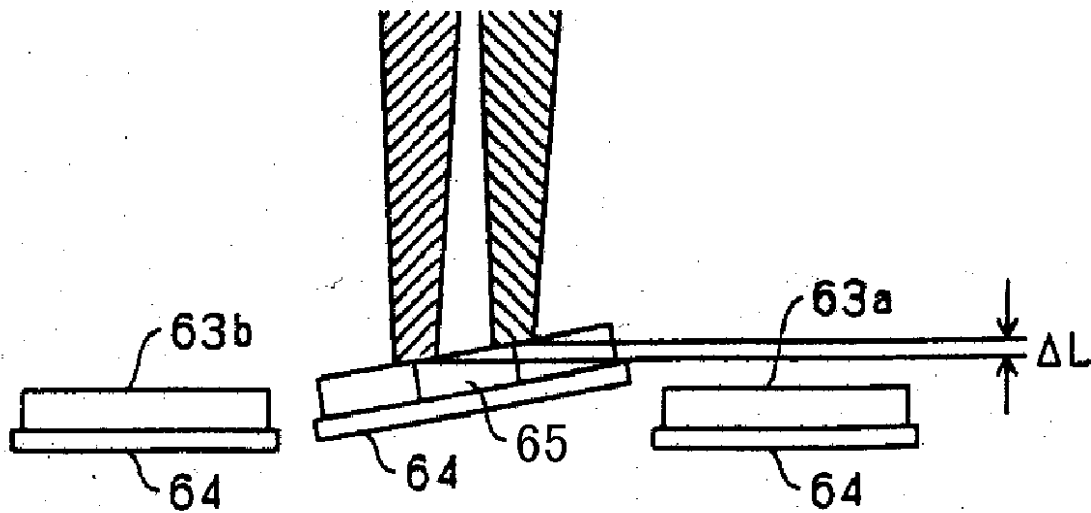
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 3】



【手続補正 5】

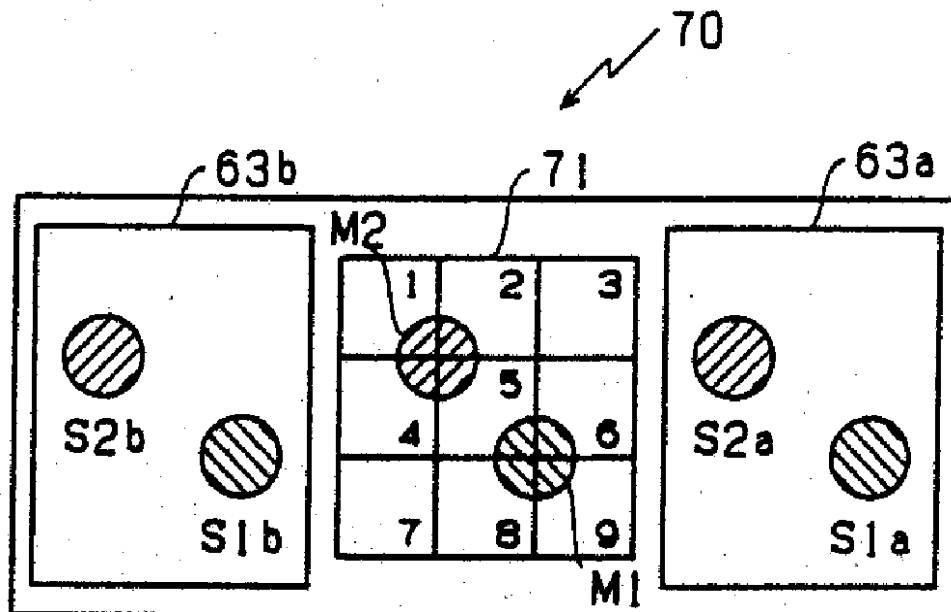
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 4】



【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 15】

